雨水出水浸水想定区域図
（想定最大規模降雨）

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 8JHs 563」

1．説明文

① この図は、五領川公共下水道事務組合の下水道全体計画区域において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に想定される浸水の範囲やその水深を示した図面です。
② この図において、水防法第14条の2第2項第4号の規定により定める雨水出水浸水想定区域は図中の赤色枠で示しています。
③ この浸水想定区域等は、令和８年３月末時点の五領川公共下水道事務組合の排水施設等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量130㎜）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
④ このシミュレーションは、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

2．基本事項等

① 作成主体：五領川公共下水道事務組合
② 指定年月日：令和８年３月１９日
③ 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項第4号
④ 指定の前提となる降雨：近年、坂井市および永平寺町で浸水が生じた2023年8月降雨を基とした、想定最大規模降雨（ピークの1時間降水量を130㎜に引き伸ばした降雨）
⑤ 浸水想定手法：降雨損失・氾濫解析を実施した結果
⑥ 境界条件：
九頭竜川、竹田川：想定される最高水位
その他の河川：流出解析モデルとして一体解析

3．備考

このシミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していません。また、近年の開発や宅地造成による標高の変化も反映されていない場合があります。このため、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

浸水想定区域

凡 例

0.1 m	未満		
0.1 m	～	0.3 m	
0.3 m	～	0.5 m	
0.5 m	～	1 m	
1 m	～	3 m	
3 m	～	5 m	
5 m	～	10 m	
10 m	～	20 m	
20 m	以上		

1:8000